

のうさんぎょそん
愛媛県農山漁村生活研究協議会

〔愛媛県：活動期間21年〕

愛媛産食材の魅力と「食と農」の大切さを伝える
「お母ちゃんがつくるおごっそう」
～子供たちにふるさと料理に込められた先人たちの知恵と技をつなぐ～

農林漁家女性による幅広い食育活動

県内で千人を超える協議会員が、13地区の各拠点で延べ3万人以上の児童や地域の人々を対象に、食文化普及講座や保存伝承活動を実施しています。会員の多くは農林水産業に従事しており、食材の利活用・調理のノウハウだけでなく、地域の豊かな自然や農林水産業が果たす役割について伝えており、これらの活動は、県の食育推進計画においても、重要な役割を担っています。



児童に郷土料理を説明する協議会員



吉田コロッケづくりに挑戦

愛媛の食材と食文化の魅力を世界に

食農教育フォーラムや各地域でのイベントでは、試食会やコンクール、レシピの配布などを通して消費者と交流し、食に関する関心と理解を深める活動に取り組んでいます。また、協議会が出版したレシピ集「愛媛のふるさとごはん」は、多くの家庭で活用されており、令和2年度からは新しくインターネットで作り方を紹介し、全世界に愛媛の食材と食文化の魅力を届けています。



「愛媛のふるさとごはん」
レシピ集を作成



郷土料理を動画で撮影

先人の知恵と技を子供たちに

地域の小学校で開催する「えひめ食文化普及講座」では、先人の知恵と技が詰まったふるさとの味教室、季節の食材を使った料理づくりのほか、後継者と一緒に農作物の栽培や収穫体験をしたり、魚のさばき方、はだか麦の味噌やジャム作りなど、その地域の特色を活かした講座を開催しています。



親子で郷土料理を学ぼう



こんにやく栽培体験



平成12年度より児童に愛媛の食文化を伝える「食農教育活動」に取り組んでいますが、この活動が認められたことを大変うれしく思います。今後も、この活動を主軸に、今までの先輩たちが積み上げてきた歴史を次代に継げるように、元気に頑張りたいと思います。

愛媛県農山漁村生活研究協議会
会長 松木 明子